



水車分科会

【目的】

水車分科会は、大学・研究機関、ユーザ、メーカーの技術者により構成され、水車、ポンプ水車に関する事例研究、問題点・課題の抽出、研究成果に関する議論等を行う目的で1985年度に本格的な活動を開始した歴史ある分科会です。現在も分科会発足時の趣旨を大切に、各者が抱える様々な課題の共有に加え、最先端の研究、近年の開発状況等に関して議論する等の活動を継続しています。本分科会は、水力発電技術向上の一翼を担うとともに、技術者の育成の場としての役割も有しています。また、毎年継続して実施している「ターボ機械生産統計」における「水車およびポンプ水車」のとりまとめも行っています。

【メンバー構成】

主査：東京電力リニューアブルパワー

幹事：東芝エネルギーシステムズ、日立三菱水力、富士・フォイトハイドロ

委員：早稲田大学、信州大学、北海道電力、東北電力、東京電力リニューアブルパワー
中部電力、北陸電力、関西電力、中国電力、四国電力、九州電力、電源開発
日本工営エナジーソリューションズ、電力中央研究所

【主な活動内容】

●分科会活動：年4回（6月、9月、12月、3月目途）

- ・第1回分科会：当年度の各者発表テーマの提案・発表時期調整 他
水力発電設備の視察

- ・第2回～第4回分科会：各者からのテーマ発表と議論 他

※新型コロナウイルス感染拡大により、Web会議を主体として水力発電設備の視察は中止していましたが、2023年度より従来からの活動を再開しています。

●発表テーマの主なジャンル

- ・水車に関する新技術・研究
- ・水力発電設備の保全
- ・水力発電設備のトラブル・対策
- ・水力発電所の建設・改修 他